

研修会報告

2019年7月15日

文責： 宮坂智充

研修会テーマ「アンチバイオグラムの作り方・使い方」

開催日時 2019年7月14日（日） 13：30～17：00

会場 東北大学 医学部保健学科 大講義室

司会 東北医科薬科大学 宮坂智充

生涯教育点数 20点

参加者 会員参加者 47名 入会申請中会員 0名 非会員 4名 賛助会員 4名 学生 0名
合計 55名

講演1「CLSI M100 および M60 の概要とこれまでとの相違点」

ベックマン・コールター株式会社 高相 道忠 先生

講演2「アンチバイオグラムに関するアンケート調査報告と日本版！ガイドラインのご紹介」

宮城県立こども病院 検査科 須田 那津美 先生

講演3「検査部ソースを利用した感染症診療」

東北大学大学院医学系研究科 総合感染症学分野 准教授 青柳 哲史 先生

17:00 終了

18:00～21:00 情報交換会開催

内容

微生物検査初心者から中級者を対象に、「アンチバイオグラムの作り方・使い方」と題した研修会を行った。CLSI の変更点を皮切りに日本版アンチバイオグラムガイドラインの紹介、また検査室から報告された情報を医師がどのように活用しているのかを学んだ。これまで、AST 関連で“アンチバイオグラムに興味のある”とか、地域連携加算 2 施設で細菌検査は外部委託していて“戻ってきた検査結果の活かし方が良くわからない”という方に学んでもらえる内容とした。アンチバイオグラム作成のためのガイドラインが策定されたことを受けて、今後アンチバイオグラムの作り方と活用が統一化される。アンチバイオグラムの有用性並びに、利用の仕方、自施設に導入する必要性について学ぶことができた。

講演 1 では、CLSI 基準について基礎および最新の変更点について学んだ。講演 2 では実際のアンチバイオグラム作成はどのようにすべきかという実務について学んだ。講演 3 では、実際にそのアンチバイオグラムがどのように使われるのかという点について、分かりやすく教えて頂いた。研修会後には情報交換会を開催し、県内外の若手の微生物担当検査技師を中心に 21 名が集まった。県内および県外の微生物検査担当技師のネットワークづくりの場を提供することが出来た。